

新しいマンモグラフィ検査

乳房トモシンセシス（3Dマンモグラフィ検査）



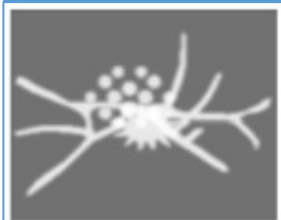
7月1日よりスタート！レディースドックに+2,200円で検査可能です！

トモシンセシス（3Dマンモグラフィ）とは

トモシンセシスとは、Tomography（断層撮影）と Synthesis（合成）の造語です。

1回の撮影で1mm程度にスライスした断層画像が得られる技術のことで、トモシンセシスを取り入れることにより、診断のしにくい石灰化や乳腺の重なりで隠れていた腫瘍を見つけやすくなります。通常のマンモグラフィに追加して撮影することで病変の発見を向上させることができます。

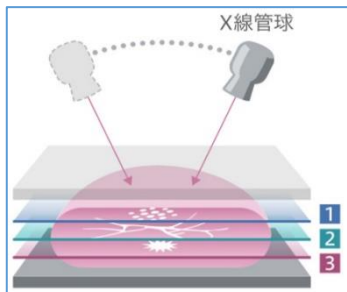
通常の画像



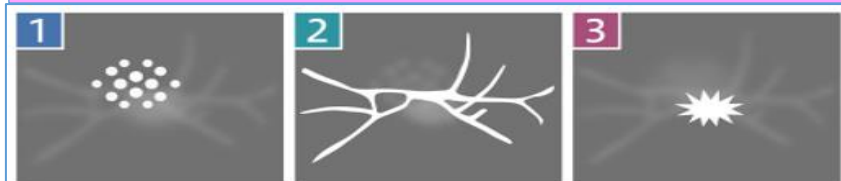
左は従来のマンモグラフィのイメージです。

通常のマンモグラフィは乳房の厚みを均等に伸ばし圧迫しながら撮影します。数cmの厚さがあるため、乳腺濃度によっては乳腺が重なって見え、病変部分が診断しづらいことがあります。

X線管球



トモシンセシス画像



トモシンセシスではX線管球を動かしながら撮影することで断層画像が作成され、乳腺濃度に関係なく乳腺の重なりが少ない画像が得られ、病変の観察がしやすくなります。

*日本人の約4割が高濃度乳腺といわれ、乳腺濃度の高い方にはより効果的な撮影法です。

撮影方法

1回の圧迫でトモシンセシスを撮影し、続けて通常のマンモグラフィの撮影を行う為圧迫回数が増えることはありません。

※圧迫時間は10～15秒程度

被ばく

通常のマンモグラフィに追加しトモシンセシスを撮影しても、乳がん検診で定められている基準値を超えることはありませんので、安心して受診していただけます。

